

施政方針概要

私は、昨年10月の市長選挙におきまして、市民の皆さまの負託を受け、引き続き市政を担わせていただくこととなりました。

現在、我が国では少子化による人口減少や高齢化による社会保障費の増大をはじめ、老朽化したインフラや公共施設の更新コストの増大などが行財政運営に影響を及ぼすことで、住民サービスの低下が懸念されるなど、地方を取り巻く環境は一層厳しさを増しています。

一方で、昨年12月に公表された年報「あいちの人口」において、本市は、名古屋市を除くと県内最多の790人の社会増となっています。さらに、イオンモール豊川の開業により、新たな雇用が創出され、さらなる人口の社会増が期待されます。

そこで、本市の令和6年度予算では、これまでの施策の成果をさらに高めるため、マニフェスト工程計画や第6次総合計画に位置付けのある事業へ重点的に予算を配分し、「もっと元気な豊川」をリードしてまいります。

「マニフェスト工程計画」に掲げる3つの基本理念

【暮らしやすさ第一豊川市】

愛知御津駅の自由通路及び駅前広場の建設整備に向けた調整をはじめ、新規工業団地の整備に向けた検討など、雇用の創出や定住促進などの施策に取り組みすることで、毎年千人の社会増を目指します。

【子育て豊川応援団】

高校3年生世代までの通院医療費を無料化する他、保育園・幼稚園などに通う児童の給食費を無料化するなど、子育て世代の経済的負担などに配慮した子育て応援施策の充実を図るとともに、高齢者や障害者に配慮した包括的な支援により、地域で心豊かな生活を続けられる環境づくりを進めます。

【市民と創る協働と健全財政のまち】

町内会の電子回覧板の導入・運営費用助成の他、一宮地区の公共施設再編に向けた実施設計や市役所本庁舎などの整備に向けた基本計画の策定を進めるなど健全で持続可能な行財政運営に取り組みます。

総合計画の6つの政策に基づく主な事業

【安全・安心】災害発生時の拠点施設となる消防庁舎の建設工事に着手します。



令和6年度予算

特集1

「元気なとよかわ 子育てにやさしく人が集うまち」の実現に向けて

総額1297億8432万円の令和6年度予算が第1回定例市議会会で可決されました。今回の特集では、令和6年度施政方針の概要と主要事業を掲載しています。

詳しいことは、財政課(89-2127)へお問い合わせください。

【健康・福祉】保健、医療、福祉に関するさまざまな機能を備えた、総合保健センター(仮称)の建設工事に着手する他、民間も含めた保育所の計画的な建て替え整備を進めます。

【建設・整備】町内会要望に基づく市道の道路拡幅改良工事などにより道路環境の向上を図るとともに、豊川西部および豊川駅東土地区画整理事業を計画的に進めます。

【教育・文化】老朽化の進む小坂井中学校の建て替え工事に向けて基本設計などに着手します。また、学校給食の食材料費の高騰分について、引き続き市費負担とし、保護者の負担軽減を図ります。

【産業・雇用】豊川稲荷の千年開帳に向けた周辺地区の基盤整備のため、公共空間整備計画の検討を進めます。

【地域・行政】窓口における市民サービスの向上や事務の効率化を図るため、窓口業務支援システムを構築します。



豊川市長 竹本 幸夫

総額 **1297億8432万円**

令和6年度の予算概要

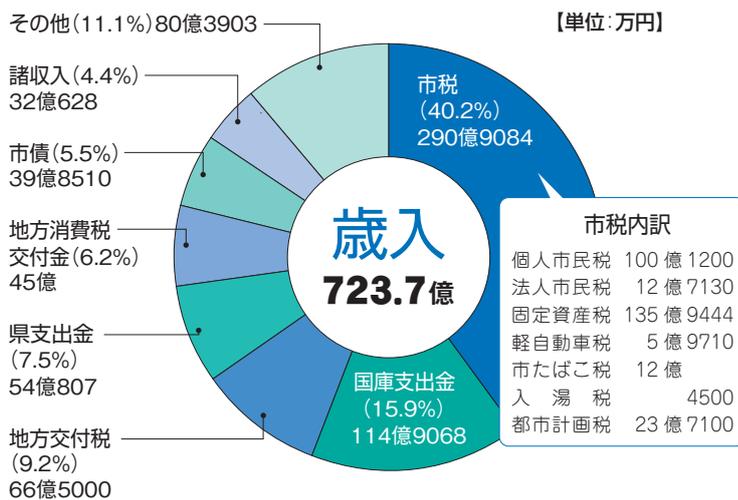


令和6年度予算の一般会計は対前年度比2.1%の増、特別会計は14.5%の増、企業会計は4.9%の増となり、全会計の総合計では4.8%の増となりました。

特別会計 **217億5700万円**

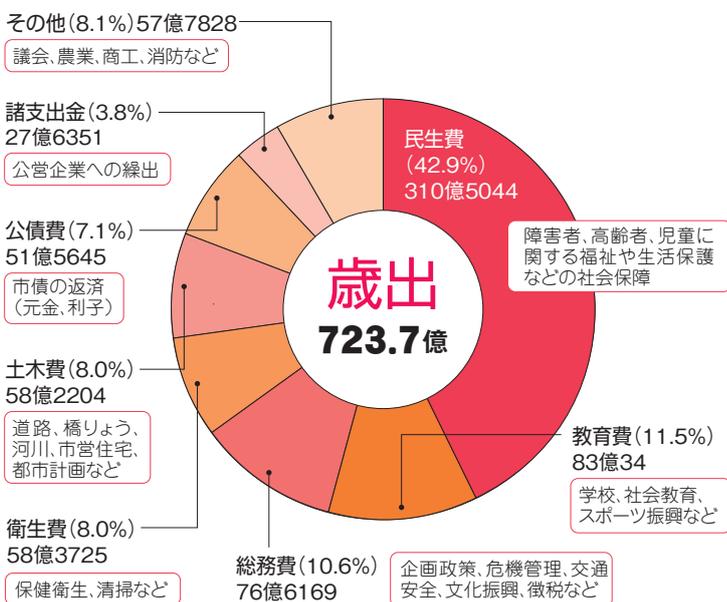
会計区分	予算額 (万円)	構成比 (%)
豊川西部土地 区画整理事業	2億880	1.0
豊川駅東土地 区画整理事業	13億4100	6.2
公共駐車場事業	1億3120	0.6
国民健康保険	158億3440	72.8
後期高齢者医療	38億5960	17.7
土地取得	3億6800	1.7
一宮財産区管理事業	60	0.0
赤坂財産区管理事業	260	0.0
長沢財産区管理事業	310	0.0
萩財産区管理事業	770	0.0
合計	217億5700	100.0

一般会計 **723億7000万円**



企業会計 **356億5732万円**

会計区分	予算額 (万円)	構成比 (%)
水道事業	収益的	33億6661 (9.5)
	資本的	19億3043 (5.4)
	小計	52億9704 (14.9)
下水道事業	収益的	42億8886 (12.0)
	資本的	35億7512 (10.0)
	小計	78億6398 (22.0)
病院事業	収益的	204億1099 (57.2)
	資本的	20億8531 (5.9)
	小計	224億9630 (63.1)
合計	356億5732	100.0



歳入

歳入の根幹をなす市税収入は、対前年度比1.0%の減を見込んでいます。このうち個人市民税は、定額減税などにより6.3%の減、固定資産税では、家屋の新增築分の増加などを考慮し、1.1%の増を見込んでいます。その他、順調な国税収入による臨時財政対策債発行可能額の縮減を考慮し、地方交付税は9.9%の増を見込むとともに、社会資本整備総合交付金の増加などにより国庫支出金は13.6%の増としています。一方、市債については、清掃工場長寿化事業の完了や臨時財政対策債を未計上としたことなどにより、7.8%の減となっています。

歳出

民生費では、児童手当支給費をはじめ、障害者自立支援事業や子ども医療費支給事業費などの増加により、対前年度比5.4%の増となっています。また、教育費では、総合体育館改修事業の増加や三河国府跡保存整備事業の皆増などにより17.8%の増となっています。その他、総務費では、地区市民館施設整備事業や本庁舎等整備計画策定事業の増加などにより8.6%の増となるなど、マニフェスト工程計画の「3つの基本理念」に基づくさまざまな事業を実施するため、一般会計としては過去最大規模の予算となっています。

建設・整備

住み心地よい、
訪れやすい都市環境が
整備されているまち

- 豊川駅東土地区画整理事業特別会
計繰出金 129,732
- 土地利用促進事業 4,123
- 愛知御津駅周辺まちづくり整備事業
8,495
- 無電柱化推進事業 2,103
- 公共交通機関等利用促進事業
14,090



▲市内道路整備事業

32,958

市内全域において、道路環境向上のため、道路拡幅改良工事や道路改良工事を実施します。

健康・福祉

誰もが健やかに
生き生きと
暮らしているまち

- 子育て応援金支給事業 4,224
- 就学前教育・保育施設整備費補助
事業 42,688
- 保育所建設事業 2,689
- 子ども医療費支給事業 101,049
- 給食費無料化事業 18,314
- 高齢者能力活用推進事業 4,517
- 重層的支援体制整備事業 5,136



イメージ図

▲総合保健センター（仮称）建設整備事業

25,079

保健センター、休日夜間急病診療所、児童発達支援センターなどを併設する総合保健センター（仮称）の建設工事に着手します。

安全・安心

安全で快適な
生活環境が
整っているまち

- 自転車乗車用ヘルメット着用促進事業
700
- 交通安全施設整備事業 4,640
- 冠水・越水箇所見える化事業 650
- 急傾斜地崩壊対策事業 10,400
- 消防車両整備事業 17,560
- 再生可能エネルギー活用推進事業
2,220



イメージ図

▲消防庁舎整備事業

25,472

建物の老朽化などに伴い、災害時の活動拠点施設機能を有した消防庁舎の建設工事に着手します。

総合計画に掲げる **6つの政策** 主な事業を紹介

【単位：万円】

地域・行政

地域と行政が
しっかりと
支えているまち

- 町内会負担軽減事業 225
- 市民協働推進事業 423
- キュパティエノ市交流事業 562
- シティセールス推進事業 1,738
- 一宮地区公共施設再編整備事業
13,125
- 本庁舎等整備事業 16,754
- 情報技術活用推進事業 29,466



イメージ図

▲地区市民館整備事業

34,947

三上・麻生田・睦美地区市民館を統合・再編するため、新たに豊川東部地区市民館の整備工事を実施します。

産業・雇用

魅力と活力が
あふれているまち

- 土地改良事業 4,900
- 企業立地推進事業 2,722
- 企業再投資促進事業 32,677
- 創業・起業支援事業 326
- スタートアップ連携事業 416
- 地域商業強化推進事業 1,350
- 豊川稲荷門前基盤整備事業 3,733
- 奨学金返還支援事業 737



▲豊川産農産物普及促進事業

278

花育活動として、ハンギングバスケット教室を開催するなど、豊川産農産物の販路拡大、普及を図ります。

教育・文化

あらゆる世代の人が
豊かな心を
育んでいるまち

- 三蔵子小学校校舎改修事業
98,714
- 小坂井中学校校舎改築等事業
14,619
- 学級運営支援事業 9,195
- 学校給食費保護者負担軽減事業
7,679
- 三河国府跡保存整備事業 25,654



▲総合体育館改修事業

99,803

施設および設備の長寿命化を図り、安全・安心に施設利用できるよう総合体育館の改修工事を実施します。



特集2

みんなの笑顔が集う場所

豊川公園リニューアル!

豊川市役所に隣接する豊川公園。市の中心市街地・諏訪地区に位置し、運動公園として昭和25年に都市計画決定された、市内で最も歴史のある公園です。スポーツイベントや市民まつりのメイン会場になるなど、まちの活性化にも大きな役割を担っています。しかし、公園が整備されてから70年以上が経過し、施設の老朽化や市民の健康志向の高まりなど、公園を取り巻く環境も変わってきました。

市では、より多くの人がスポーツや交流を楽しめる場とするため、令和元年度から豊川公園の再整備を進めてきました。これまでにこども広場や庭球場の他、キュパティーン広場、まんなか広場、いきいき広場を整備。そしてこの春、しばふ広場、さくらトンネル、ウオーキング・ランニングコース、駐車場の整備を終え、豊川市のセントラルパークとして豊川公園が生まれ変わりました。

今回の特集では、新しくなった豊川公園の魅力を紹介します。詳しいことは、公園緑地課（89局2176番）へお問い合わせください。



芝生部分については、芝生の養生のため、7月1日からの利用開始となります。

しばふ広場



整備によって伐採した木を、休憩施設の柱に使用する他、チップ化して樹木の養生に再利用するなど、有効活用しています。

陸上競技場の東側には、スポーツ大会と各種イベントの同時開催を可能とした「しばふ広場」が整備されました。運動したり、遊んだりできるしばふ広場には、大きな屋根付きの休憩施設もあり、のんびりとくつろぐことができます。また、隣接地に新しく駐車場を整備し、普通車約100台、大型車4台の駐車が可能となりました。

まんなか広場・いきいき広場



陸上競技場とかわしんビクトリースタジアム（豊川公園野球場）の間には、のびのびとストレッチやウォームアップができる「まんなか広場」と、健康遊具を使って健康づくりができる「いきいき広場」の2つの広場が整備されました。



ウォーキング・ランニングコース



豊川公園の外周をはじめとする3種類のウォーキング・ランニングコース。1周の距離が、600m、1000m、1500mと設定され、目的やペースに合わせて利用できます。1500mコースにはランナーや歩行者の足腰に負担が少ない「人に優しい舗装」を整備。路面上にいなりんのイラストを使った距離表示をするなど、楽しみながら運動することができるようになりました。



キュパティエーノ広場



総合体育館前の「キュパティエーノ広場」は、地面全体に桜模様が施されました。また、車両乗り入れが可能となり、キッチンカーなどが出店するイベントもできるようになりました。

さくらトンネル



影絵照明



景観に配慮したブロック舗装をし、各施設へつながる空間となりました。春には満開の桜を楽しむことができます。夜は桜のライトアップや影絵照明などもあり、日中とは違った雰囲気を楽しむことができます。